

都市再生整備計画 事後評価シート
竜東彩構築地区

平成27年3月

長野県駒ヶ根市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	駒ヶ根市		地区名	竜東彩構築地区			面積	2,200ha		
交付期間	平成22年度から平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	206.5	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	中曾倉二越線外14路線、防災行政無線デジタル化									
			提案事業	舗装修繕事業、田舎暮らし推進事業、防災ハザードマップ作成、防犯灯設置補助、市民満足度調査、まち普請支援事業									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	市道 塩田高田線 市道 3-40号線	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	市民満足度調査	市民満足度調査: 調査集計業務を外委託せず職員にて対応したことにより削除			市民満足度調査: 影響なし					
	新たに追加した事業		基幹事業	市道 2-47号線 市道 3-135号線 市道 永見山線	市道 2-47号線: 狭隘道路であり、拡幅改良整備により安全性の向上 市道 3-135号線: 狭隘道路であり、拡幅改良整備により安全性の向上 市道 永見山線: 狭隘道路であり、拡幅改良整備により安全性の向上			市道 2-47号線 : 定住促進につながる里山地区整備に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 3-135号線: 定住促進につながる里山地区整備に貢献するが、目標及び指標は据え置く 市道 永見山線 : 定住促進につながる里山地区整備に貢献するが、目標及び指標は据え置く					
			提案事業	—	—			—					
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		変更		—						
		変更	—		—		—						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	市民満足度調査	Pt	3	H21	3.0以上	H26	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	総合所見	予定時期
	指標2	防災情報難聴地区アンケート調査	%	75	H22	30	H26	—	45	○	ありなし	道路環境整備及び防災設備の整備により、災害に強い安心で安全な生活環境が向上したことが、市民満足度の増加に寄与したと考える。	—
	指標3	道路関係地域要望実現度	%	27	H20	50	H26	—	61.9	○	ありなし	区域内全域の放送エリアがカバーされ、放送品質の向上したことが、聞こえ具合向上に寄与したと考えられる。	—
	指標4										ありなし		
	指標5										ありなし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	その他の数値指標1	難聴地区における放送音量についてのアンケート調査	%	49.9	H22	—	70.1	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	総合所見	予定時期
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	防災行政無線のデジタル化や道路整備に加え、洪水や土砂災害の危険箇所や避難支援施設を記載した防災ハザードマップの作成を行い、市民に配布したことにより、防災体制のハード面とソフト面の双方の強化が図れた。												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		市民へ満足度に関するアンケート調査を実施し、事業進捗に伴う効果及び指標の検証を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				計画期間終了後においても、道路環境や防災環境などの地域住民アンケートを定期的実施し、市民の満足度を確認する。		
	住民参加プロセス		防災行政無線整備後、市民へ試験放送を行い、聞こえ具合の確認を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				防災訓練等により、防災行政無線の放送を行い、聞こえ具合を確認し、不具合があれば随時改善を図る。		
	持続的なまちづくり体制の構築		—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—		

様式2-2 地区の概要

竜東彩構築地区(長野県駒ヶ根市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
【大目標】 生活環境の安全性、快適性、利便性の向上を図り、誰もが暮らしやすい山里の素敵な地域の実現を目指す。(安全・安心で災害に強い里山づくり) 目標1: 災害に強く子供からお年寄りまでが安心して暮らせる防災環境整備 目標2: 自然と調和した誰もが住みたくなり定住促進につながる里山地区整備	市民満足度調査	単位: Pt	2.92 H21	3.0以上 H26	3.03 H26
	災害情報難聴地区アンケート調査	単位: %	75 H22	30 H26	45 H26
	道路関係地域要望実現度	単位: %	27 H20	50 H26	61.9 H26
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画区域内の生活道路において、側溝に蓋をし道幅を拡幅することにより、車両のすれ違いができるようになり、道路環境における安全性が向上した。 防災行政無線のデジタル化により、難聴地区と考えられる区域の解消が図られ、的確な情報伝達が行われるようになった。また、中沢支所と東伊那支所へアンサーバック機能を装備している子局を設置し、市役所との間で情報収集・伝達が行える環境となった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 避難拠点として指定されている公共施設において、地域住民が一定期間避難生活を送るための防災用品の整備や、有事の際に利用できる災害用トイレ等の衛生環境を整備し、万が一の場合に備える必要がある。 生活道路の改善を計画的に進めてきているが、引続き、通学路の危険箇所や車両のすれ違いができない狭隘な道路における拡幅改良などを進め、歩行者の安全性を優先的に確保する必要がある。また、災害等の緊急時に、地域住民がスムーズに避難施設へ移動できるよう道路環境の整備が必要である。 小規模ながら農業を楽しみながら自然豊かな環境で生活できるよう、周辺環境に配慮した宅地整備が必要である。 少子高齢化や人口減少時代の到来により、農業後継者や担い手不足などの問題を抱えている状況であり、地域の活力低下が懸念されているが、地域の特色である「農業」と「商工業」が連携した第6次産業などの新たな産業づくりや、里山の「観光資源」を活用し、交流人口の増加を進めることで、活力あるまちづくりを図る必要がある。